令和９年度　大学院連合教職実践研究科入学者選抜（10 月選抜）

学校臨床力高度化系
小論文

【出題の意図】

① 「事例検討会・ケース会議」の意義をどのように理解しているか。また、それだけでなく、広く教職員間の話し合い・相談できる場について、どのように捉えているか。他方で教師の多忙・働き方をも考慮しているか。そうした葛藤を抱えつつ、子どものために機能する学校について、模索する力があるかを問うている。

② これまで教員として、子どもとのかかわりに課題や問題をどのように感じ、それを言語化することができるか。また、そうした課題・問題を一人で抱えるだけでなく、報告や相談を通して組織としての取り組みにどのようにつなげようとしてきたのかを問うている。

③ これまでの一教員としての立場から学校組織に対する思いがどのようであるか。さらに、そこから若手育成など、より学校運営的な発想へと、柔軟で相対的な思考が、どの程度できるかを問うている。

④ 会の目的（短期的な方針、省察等）や学校内での位置づけ（メンバーの選定、参加していない教員への伝達のあり方等）、必要な準備（資料作成や打ち合わせ等）、進め方（報告者にとっての意義、参加者への会の目的の共通理解等）をどの程度具体的に考えることができるかを問うている。